

地域文化祭

11月14日（日曜日）まなび宿阿毘縁

12:00～ 昼食会

12:00 開会 ～ 15:30 閉会

《 体育館 》

町栄養士・阿毘縁食改善推進委員さんによる
香茸おこわ・地元産の具沢山のみそ汁・副食一品

(昼食後) 作品鑑賞

《 校舎一階廊下・校長室・職員室 》

増原町長コレクション 鳥取県地図

クタガネたたら展示品

地域有志の作品

13:30～ 舞台発表

《 体育館 》

町栄養士さんからみそ汁塩分測定のお話

阿毘縁地域有志

コーラスグループ

その他

抽選会

ビンゴゲーム

* 廃食油の回収とペットボトルのキャップの回収をします。

旧小学校足洗い場（校舎から体育館へ行く渡り廊下です）

高原だより

発行 / 阿毘縁むらづくり協議会

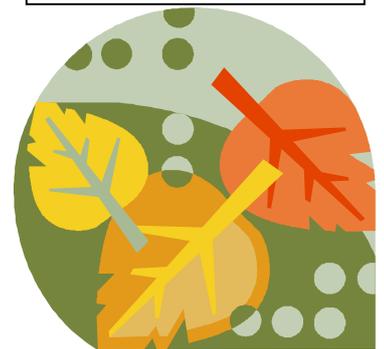
電話 87-0909

平成22年11月

参加者の一言感想

- * とても楽しかったのですが、船のゆれたのにはちょっと恐ろしかったです。和気あいあいの良い旅行だったと思います。何も忘れたひと時を今夜夢に見るかも？
- * 楽しい一日を過ごすことが出来ました。遊覧船は波が荒く乗船する時間が短かったです。さすが世界の自然公園素晴らしい景色でした。また晴れた波の静かな日にもう一度行ってみたいです。有り難うございました。
- * 天気もよく賑やかに楽しく旅行出来ました。遊覧船で揺れて大声を出したのもおおいでになりました。記念館でのジオパークの映像大変良かったです。有り難うございました。
- * 今日はとても楽しい旅でした。遊覧船では子どものようにキャーキャーと声を出しおかしかったです。ストレス解消になりました。
- * 私達が阿毘縁小学校で5年間担任していただいた菊本義頭先生の出身地であり、浦富海岸の美しさを少年時代から聞かされ数回訪れていたこともあり、戦前は先生の父上が海岸の美しさに魅せられ、自前の櫓舟で観光案内や釣り舟等の事業をされ、また、戦後は民宿の経営等で親子2代にわたり浦富の自然環境の保持と観光開発に貢献されていたことを思い出し、今回の世界ジオパーク認定の現状が是非見たく研修に参加しました。現況は自然景観が浦富の皆さんの努力で整備管理され立派に保存されていたことでした。こうした浦富の皆さんの懸命な努力がジオパーク認定の実を結んだものと更に深く感銘したような次第です。私達も地域発展のため大いに見習わなければならない感慨深い一日でした。 丸山喜弘

世界のジオパーク認定ほやほやの浦富海岸遊覧に、三十三名の参加者で行ってきました。前日も後日も雨でしたが、当日は皆さん普段の行いが良いのか好天気になりました。海の方は台風の影響でしょうか波も荒く、遊覧はちょっとだけで引き返してしまい不完全燃焼気分でした。海の方は台風の影響でしたが、普段お目にかかることの少ない方の参加もあり大変有意義な研修だったと思います。



男の料理教室 参加者募集

とき：十一月二十三日（火曜日）午前9時
場所：まなび宿阿毘縁家庭科室

男性・女性を問わず多数のご参加をお待ちしております。

申し込み〆切：十一月十七日（水曜日）必着

阿毘縁地域振興センター

電話・FAX 87・0909

持ち物：三角布・エプロン・筆記用具・米5灼

主催：阿毘縁むらづくり協議会 文化生涯学習部

共催：阿毘縁食改善推進委員会

ふるさと歴史探訪

お墓山の伝説 — 「日南町大菅 御墓山」(伊邪那美の命の墓の伝説地)

(寄稿) 木村 稔 さん

いざなぎ みこと いざなみ みこと

昔、伊邪那岐の命、伊邪那美の命のお二人は、大八島の国々や諸々の神を産んだ。最後に火の神を産んで、そのために伊邪那美の命は体を焼かれて死んでしまった。遺骸は出雲の国と伯耆の国の境にある比婆山に葬った。日南町阿毘縁にある御墓山がそれである。

出雲風土記に「出雲の内、伯耆の堺に近き山間に峠の内という処あり、そこに伊邪那美の命の陵なりとて塚あり・・・」の記事があり、ここの大菅氏神宮が熊野権現として祭られている。権現の神主内藤氏は小詞を勧請し、日輪山神社と号した。

昭和の年代に、山上村矢原神社の神主、内藤岩雄氏が御墓山宣揚のための道の入り口に巨岩の道標を建て山麓に祭事場を設けて祭礼を励行した。戦後は中止され、観光の対象となったが、今でも古墳の赤土部分は土質が周りとは異なっている。

あんぐう

考霊天皇の行宮

天皇の行宮には笹を葺いたことから、考霊天皇の神社を楽々福神社という。

くわしひめ

1601年(慶長6年)溝口の宮原に神社を築き奥日野の大倉山や鬼林山などの鬼を退治するため細姫命と齒黒皇子をつれて奥日野に入り鬼を退治し、日野の奥地を荒らした鬼たちは天皇の家来となる。

宮内の日野川の東に天皇の行宮を、西側に皇后の細姫命の行宮を作り逗留される。(東の宮、西の宮という)その子福姫命は昔福で

こうきよ

過ごされていたが13歳の時印賀に移された。印賀でえんどう豆をとりに行かれ竹の端が目突きささったのがもとで薨去された。

印賀では竹を植えることも箸を使う事も禁じられたという。

協議会活動記録

(10月)

- 18日:町自治協議会出席
- 20日:文化祭実行委員会
- 21・23日:砥波たたら跡現地説明会
- 29日:むらづくり視察研修(浦富海岸)

(11月)

- 5日:配布用せつけん準備

これからの予定

(11月)

- 13日:町同和教育研究集会参加
- 14日:地域文化祭
- 17日:地域支援事業会食会反省会
- 23日:男の料理教室
- 25日:阿毘縁自治会

「みんなの人権・小地域懇談会」

27日:下阿毘縁自治会

「みんなの人権・小地域懇談会」

人権教育推進員 田邊隆則さんの二十一年度の小地域懇談会の総括より
二十一世紀は「人権の世紀」と言われています。まず自分の人権に芽生え、そして家族の、つづけて隣人の人権についてくり返し学習する自分を育てましょう。小地域懇談会は年に一回、心の点検です。

下阿毘縁自治会を対象に
下阿毘縁集会所で
「子どもの人権」と「部落差別問題」多数のご参加をお待ちしています。

十二月二十七日(土曜日)
午後一時三十分から

上阿毘縁自治会を対象に
阿毘縁自治公民館で
「部落の歴史」ビデオ鑑賞・話し合い

十二月二十五日(木曜日)
午後二時から
「みんなの人権・小地域懇談会」開催

山帰来通信 11/2

先月は(10月3日)ボランティアの方々といっしょに焼き肉会。

午前中男性陣は展望台の草刈及び枯れ木の伐採、女性陣は焼き肉の用意です。

“ゆきんこの”の焼き肉コーナーの設備はとっても good!!

20人ほどで1年間の労をねぎらいました。

11月は又草刈等に精を出します。冬12月~3月はお

休み、四月までバイバイ

㊦

バス停復活

下阿毘縁下のバス停復活について、むらづくり協議会、下阿毘縁自治会、老人クラブ連合会で町へ要望していましたが、大宮線の砥波始発、終点が加納良之輔さん宅前に変更されます。運行は来年四月からになります。ご利用ください。